

【一連の災害における特徴的かつ稀有な事象】

今回の一連の災害では、次のような三つの特徴的かつ稀有な事象が生じた。

- 房総半島台風（台風15号）は過去69年間で関東地方に上陸した台風としては最強クラスであり、暴風域が非常に局所的で急激に風雨が強まるものであった。
- 房総半島台風により大規模な停電が長期間発生し、停電被害が大きいことを理由として災害救助法を適用したが、停電を理由とした同法の適用は全国的にもほぼ前例がないものであった。
- 三つの大きな災害が連続して発生し、それぞれが大きな被害をもたらした。

【大規模災害の連続的な発生】

房総半島台風は過去69年間で関東地方に上陸した台風としては最強クラスの台風であり、千葉で最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルの猛烈な暴風を記録するなど、県内9箇所で最大風速、県内10箇所で最大瞬間風速の観測史上1位の値を更新した。また、房総半島台風は台風本体の接近時に風や雨が急激に強まる特徴があった。この台風により県内では7万棟を超える家屋被害が発生するとともに、広い範囲で最大64万1千件の停電が発生し、解消までに長期間を要したことから社会生活に大きな影響が生じた。停電被害が大きいことを理由として災害救助法を適用したが、停電を理由とした同法の適用は全国的にもほぼ前例がないものであった。

東日本台風は県内に暴風と大雨をもたらし、10月12日には市原市で竜巻と推定される突風が発生した。また、県内2箇所で最大瞬間風速の観測史上1位の値を更新し、大きな被害をもたらした。他方、神奈川県箱根で10日から13日までの総降水量が1,000ミリに達するなど東日本の広い範囲に豪雨、暴風をもたらし、東日本の広い範囲で河川の氾濫や土砂災害、洪水害が発生し大きな被害をもたらした。

10月25日の大雨は、日本の東海上を北上した台風21号と10月23日に東シナ海で発生した低気圧の影響により県内の広い範囲で猛烈な雨をもたらし、12時間の降水量が10月の降水量の平年値を超えたところがあるなど記録的な豪雨となった。この豪雨の影響で県内の広い範囲で河川の氾濫や土砂災害、洪水害が発生し大きな被害をもたらした。

このように単独の災害としても観測史上1位の値を更新する記録的で大きな被害をもたらした災害が、短期間のうちに三つ連続して発生し大きな被害をもたらした点において、

非常に稀有な一連の災害であった。

なお、気象庁は令和2年2月19日、令和元年に大きな被害をもたらした台風15号と19号について、15号を「令和元年房総半島台風」、19号を「令和元年東日本台風」と名称を定めた。気象庁では、顕著な災害をもたらした自然現象について、後世に経験や教訓を伝承することなどを目的に名称を定めることとしており、台風の名称を定めるのは昭和52年9月の「沖永良部台風」以来42年ぶりのこととなる。また、気象庁長官は会見で、「台風第15号に関しては暴風でこれだけ大きな被害が出るということ、これは大きな教訓であるだろうと思っています。私も暴風の場合は、大雨に比べるとそれ程大きな災害にならないだろうと少し油断していた部分もありましたが、暴風によって、特に電源の方の施設が被災して長時間停電が続き、このことによって非常に大きな社会的な支障が出たということで、これは非常に大きな教訓なのだろうと感じている次第でございます。台風第19号に関しましては、台風としましても、大雨の量としましても記録的な台風でございましたので、これは後世へ記憶に残す必要のある台風であったと考えております。」と述べている。

【今回の一連の災害と近年の大規模災害の状況】

近年、発生した大規模災害について、平成25年に東京都大島町で大規模な土砂災害が発生した台風26号では、千葉県においても銚子市で最大風速33.5メートル（最大瞬間風速46.1メートル）、鋸南町で総降水量370.5ミリを観測し、死者1名、重傷者3名、全壊6棟、半壊12棟、床上浸水1,600棟等の被害をもたらした。また、平成29年に東日本の広い範囲で大雨となり、各地で暴風や高波、高潮が発生した台風21号では、勝浦市で最大風速27.2メートル（最大瞬間風速39.5メートル）、大多喜町で総降水量250.5ミリを記録し、重傷者1名、半壊5棟、床上浸水5棟等の被害をもたらした。

これら近年の大規模災害と比較しても、今回の一連の災害がいかに甚大な被害をもたらしたものであるかを裏付けている。

【被害の概要：令和２年３月１９日現在】

		房総半島台風 (台風 15 号)	東日本台風 (台風 19 号)	10 月 25 日の 大雨
人的被害	死者	2 人 (内災害関連死者 2 人)	1 人	11 人
	重傷者	11 人	3 人	1 人
	軽傷者	73 人	23 人	5 人
住家被害	全壊	409 棟	32 棟	35 棟
	半壊	4,281 棟	270 棟	1,716 棟
	一部損壊	71,624 棟	5,665 棟	1,842 棟
	床上・床下浸水	96 棟	94 棟	1,276 棟
ライフライン 被害	停電	64 万 1,000 軒	13 万 8,500 軒	2 万 3,400 軒
	断水	13 万 3,474 戸	2,491 戸	4,699 戸
農業被害		664 億 9,900 万円	30 億 7,000 万円	56 億 9,000 万円
中小企業被害		305 億円超		

被害状況

房総半島台風による被害



君津市かずさ小糸（鉄塔倒壊）



君津市かずさ小糸（鉄塔倒壊）



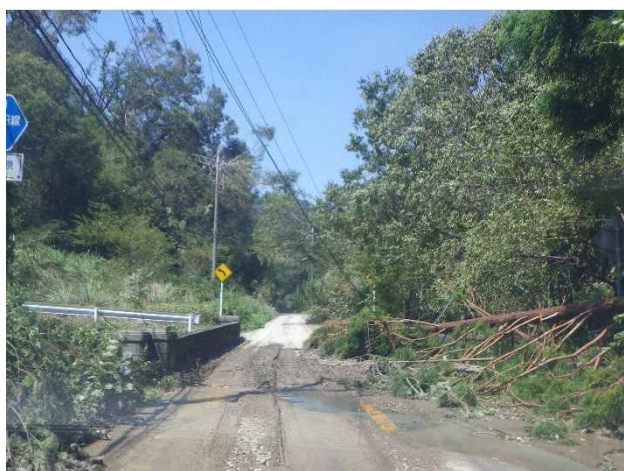
君津市かずさ小糸（鉄塔倒壊）



君津市大野台



鋸南町市井原（県道鴨川保田線）



鋸南町市井原（県道鴨川保田線）



鋸南町奥山（県道外野勝山線）



鋸南町



鴨川市金束（鴨川保田線）



館山市船形



山武市内



山武市内

市原市下野・市原市永吉 (竜巻と推定される被害)	市原市下野・市原市永吉 (竜巻と推定される被害)
市原市下野・市原市永吉 (竜巻と推定される被害)	市原市下野・市原市永吉 (竜巻と推定される被害)
市原市下野・市原市永吉 (竜巻と推定される被害)	市原市下野・市原市永吉 (竜巻と推定される被害)



鴨川市西



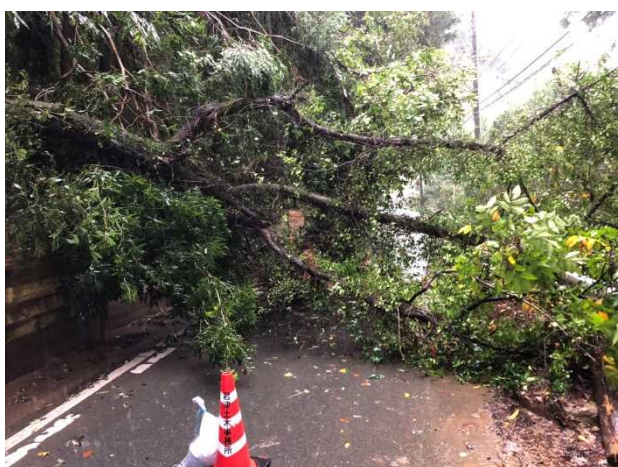
鴨川市四方木



鴨川市四方木



長南町深沢



君津市広岡

10月25日の大雨による被害



佐倉市（鹿島川大橋付近）



佐倉市（印旛沼周辺）



佐倉市（印旛地域振興事務所・高崎川）



佐倉市（鹿島川）



茂原市（茂原市役所・豊田川）



茂原市（長生地域振興事務所）